



12月の園だより

令和6年12月2日

目黒区立祐天寺保育園長

夕方に、3 歳児クラスの前から「〇ちゃん、またあそぼうね」「ばいばい」と明るい声が聞こえたと思ったら、見送られた子が事務所の前を通りがてら、「園長先生またね～」と弾むように笑顔をのぞかせてから、お家の方と帰って行きました。まるで“今日も楽しかったよ”と伝えてもらったような気がしました。

夕方の玄関にも子どもたちの楽しいやり取りが聞こえてきます。先日は、1 歳クラスの子がお家の方と一緒に降りて来たときに、靴箱から友達のを靴を出して玄関に置きました。どうやら大好きな友達が後から来ていることがわかっていたようです。くると振り返ると友達に駆け寄り、嬉しそうにハグをして出迎えました。時には、友達と一緒に帰りたくて玄関で待っている姿もあります。それぞれの年齢なりに仲間との繋がりが温かく膨らんでいる姿が、微笑ましい限りです。

人と心地よく繋がる力は、社会と繋がること、自分以外の物事へ視野を広げていく柔軟な思考や、何より優しい心を育みます。大切に守っていきたいと思います。

さて、幼児クラスでは今、“大きくなったね会”に向けて、劇作りをしています。仲間と物語を共有して作り上げることで、また一つ繋がりが深まるそんな機会となっています。

〈12月の行事予定〉

大きくなったね会（3・4・5歳児）
5歳児クラス懇談会

中旬 避難訓練・身体測定

〈年末年始のお知らせ〉

保育園は

12月29日(土)から

1月3日(金) までお休みです。

リズムあそびの様子(2 歳児 ひまわり組)

ホールでリズム遊び を楽しんでいます。まずは汽車になって出発、ピアノの音に合わせてだんだんスピードが速くなり、思いきり走ります。ピアノの音が止まり、「ブレーキもしっかり効いているかな」と声をかけると、走っていた汽車が次々にピタッと止まり、少しずつ身体の動きを意識しながら楽しむようになっていきます。「汽車が池に到着したよ」と声をかけると「カエルさんしたい」「おうまさんくるよ」などと子どもたちが言い、今度はカエルになって思いきりジャンプしたり、馬になって池の周りを四つ這いになったり走ったり、亀になってピタッと動かないように止まったり、ワニになって腹ばいで進んだりして、色々な動物になりきって楽しんでいます。

ワニになる時には、ギョロリと睨んで大きな口を開けて、表情まで 怖いワニになりきっています。2人組になって手を繋ぎ、「ぎっちらこ」と船をこぎ、友達と一緒に身体を動かすことも楽しむようになっていきます。時にはたんぽぽ組の友達も見に来て、楽しそうな様子と一緒に身体を動かして遊ぶ姿もあります。これから異年齢で交流もしながら一緒に楽しんでいきたいと思っています。



職員が幼児クラスの子どもたちの前で劇や合奏、管楽器の演奏を披露しました。役になりきっている職員の姿を見て歓声が上がったり、きれいな楽器の音色にうっとりしたりしていました。そんな楽しい経験をした後、子どもたちは見たもの、聞いたものを自分たちで再現しています。



りす組(3歳児) 毎日ごっこ遊びを楽しんでいます



「お誕生日会しよう」という子どもの声に牛乳パックで車を作り友達と誕生日会をする家へ向かっています。



「いらっしゃい〜」「ピザとおにぎりがありますよ」「ジュースは何がいいですか？」とやり取りを楽しんでいました。



うさぎ組(4歳児) 園庭でケーキ屋さんごっこや団子屋さんごっこが盛り上がっています



型抜きに砂や木の実をきれいにいれて、砂場のふちに並べていきます。「まだオープンしていません」保育士はお客さんなので準備は子どもたちだけで進めていきます。ふちが全部ケーキで埋まったらケーキ屋さんがオープンです。



ケーキ作りと同時にお店の中を飾り付けする担当の人もあります。「これは飾りですので買えません、見るだけです」と大事にしています。園庭でケーキ屋さんごっこや団子屋さんごっこが盛り上がっています。



きりん組(5歳児) お楽しみ会の合奏や演奏を聴いた後に楽器作りを楽しんでいます。



箱と画用紙でシロフォンを作っています。バチもついていて、保育士が歌う歌に合わせ鳴らす真似をしました。



園庭でペットボトルに水やドングリを入れ、入れるものによって音の鳴り方が違うことに気付きました。「水が多いと音が鳴らないから水を減らすと音が変わるね」と調整をしていました。